



# 笠山

阿久根市立三笠中学校  
学校便り 令和元年度 12号

校訓  
自主  
協調  
持続

生活実践目標  
美:場を清める  
礼:礼を正す  
時:時間を守る

学校教育目標  
未来を拓く、心豊かでたくましい生徒の育成

創立 1947 (創立 72 周年)  
卒業生 10, 513人

## 未来社会を生き抜くための読解力

校長 四元 清路

来年度からの大学入試センター試験で導入を予定されていた記述式問題が、採点業務などの課題が解決できないとして見送られることになりました。そもそもなぜ、記述式問題を実施しようとしたのでしょうか？ それは、グローバル化、IT化など、急激に変化していくこれからの時代において非常に重要とされる「思考力・判断力・表現力」が現行のマークシート式の問題では十分に測れないという理由からです。

私はこの「思考力・判断力・表現力」の基盤には「読解力」があると思います。日本人であれば日本語で書かれた文は普通に読めるでしょう。しかし、読めることと、読んでその意味が分かることは全く異なります。「読解力」とはただ単に「文章を読める力」ではなく、「文章を正確に理解して読める力」なのです。先日、2018年のPISA（学習到達度調査）の結果が公表されましたが、その中で日本の若者の読解力の低下が指摘されていました。この読解力の低下については国立情報学研究所の新井紀子教授も「日本の中高生の多くが学校の教科書を正確に読んでいない」という衝撃の内容を発表しています。それを裏付けるものとして新井教授は次のような問題の正答率を示しています。

思考力・判断力・表現力  
読解力

【問題】以下の文を読んで、( ) にあてはまる最も適当なものを1～4のうちから一つ選びなさい。

Alexは男性にも女性にも使われる名前前で、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexanderの愛称でもある。つまり、Alexandraの愛称は( )である。

- 1 Alex      2 Alexander      3 男性      4 女性

これは知識があるかないかではなく、文を正確に読めるかどうかを判定する問題と言えます。正解は「1」ですが、新井教授らが中学生を対象に行った調査では正答率が37.9%だったと報告しています。ちなみに本校でも6月に同じ問題を行いました。正答率は35.4%と、ほぼ同じような傾向でした(3年生:44.7% 2年生:41.5% 1年生:17.6%)。この状況を踏まえ、本校では帰りの会等の時間を活用し、計算力に加え、読解力育成の取組も行っています。先日(12/14)は次の問題を実施しました。

こうじさん、みくさん、あきらさん、ゆきさんは同じ学年ですが、1組から4組までの別々のクラスです。この学年の担任は、小林先生、木村先生、赤井先生、川口先生の4人です。次の4人の話から、それぞれのクラスと担任の先生の名前を答えなさい。

こうじ 「ぼくのクラスの担任は、川口先生です。」

みく 「ゆきさんは3組ね。」

あきら 「ぼくは、1組ではありません。」

ゆき 「4組の担任は小林先生で、あきらさんのクラスの担任は赤井先生だね。」

この問題の正答率は91%でしたが、私は文章を読んでただ頭の中で考えるだけでなく、文章の意味する関係性を図式化できることも読解力を高める大事な要素だと考えます。

ところで、先日の全校朝会では、Society 5.0について、それが実現した社会の映像も交えて話しました。Society 5.0とはSociety 1.0(狩猟社会)、Society 2.0(農耕社会)、Society 3.0(工業社会)、Society 4.0(情報社会)に続く、最新のテクノロジーを活用した新たな社会です。そこでは日常生活が非常に便利になる反面、人間にしかできないと思われていたことをAIやロボットがやるようになり、現在ある職業のうち多くのものがなくなってしまうことも予想されています。しかし、人間にはできてAIにはできないこともあります。それは、例えば、経験のない状況での判断、新しい発想、人の心情に伴う行動の「意味」を考えることなどです。そこでも根本となるのは読解力です。生徒たちが未来社会を生き抜くために必要な読解力の向上を各教科の授業はもちろん、様々な場で取り組んでいきたいと思ひます。



今年の本校教育活動も保護者・地域の皆様のご支援で充実して終えることができました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 「火の用心」で安全に！ 避難訓練《11/25(月)》



冬はストーブや鍋料理など、他の季節よりも火を使うことが多くなるうえ、空気も乾燥しているので火災が起こりやすくなります。学校も昭和38年に火災を起こしております。二度とないように努めていますが、いざという時のために避難訓練と消火訓練を行いました。ご家庭でも十分ご注意ください。

## 中3も童心に！ PTA文化部読み聞かせ《11/28(木)》



PTA文化部の保護者の方は、この日のために絵本を探したり、夜に集まって練習したりして、読み聞かせに臨みました。生徒たちは、思わずお話の世界に引き込まれ、童心に戻ったように集中して聞いているようでした。PTA文化部の皆様、早朝から、本当にありがとうございました。

## お互いを大切に

## 心の教育の日《12/4(水)》



人権週刊(12/4～10)に合わせて、全校生徒で人権学習を行いました。前半はエクササイズでお互いの協力の大切さを学びました。そして、後半は「リフレーミング」を学び、みんなが書いた自分の短所の見方を変え、ポジティブに考える練習を行いました。家庭でもぜひ親子で使ってみてください。

## 専門家に学ぶ アクネ大使来校《12月8日(日)》



アクネ大使の川畑麻衣子氏(クラリネット奏者 埼玉県在住)が来校され、吹奏楽部の生徒たちにレッスンをしてくださいました。基本中の基本の呼吸法や基本的な音出しのレッスンをしてくださいました。特にクラリネット担当の生徒はマンツーマンでレッスンを受けるという大変貴重な経験をすることができました。

## また、遊ぼうね！ 3年保育実習《12/10・17(火)》



3年の家庭科の授業では「子どもの成長」について学ぶ単元があります。その一環で、今回は、折多保育園で保育実習をさせていただきました。これまでの授業で幼児たちにおもちゃを作り、幼児たちに見せるのをとても楽しみにしていました。幼児たちは予想以上に喜んでくれたようです。楽しい時間はあっという間に過ぎました。

## しばらく仮設校舎に引っ越しします。



現在、1・2年生が過ごしている1号棟が年明けから長寿命化の工事に入ります。そのため、工事終了まで、仮設校舎へ引っ越すこととなります。工事期間は来年の夏までとなっています。しばらく生徒たちには不便な思いをさせますが、プレハブ校舎にも空調が入り、できるだけ快適に過ごせるように配慮しております。

## これまでの練習を元に自分の限界に挑戦！

## 校内長距離走大会(12/14 土)

12月から体育の授業では長距離走を実施するとともに、希望者は毎朝7:40から朝のランニングに励みました。受験勉強で体がなまっていた3年生にとっては、受験に向け絶好の体力作りです。そのためか、朝ランは1・2年生よりも3年生が多く参加していたようでした。その成果か、本番では3年生の多くが上位で走っている姿が見られました。また、四元校長が最初で最後の特別参加。男子生徒に交じって健脚を競い、40歳以上の年の差も感じさせない見事13分35秒で完走しました。

沿道では多くの保護者や地域の皆さんの声援が励みになりました。皆様の応援、ありがとうございました。

- 1年生:男子 1位 富田敬斗 2位 郡田暉心 3位 釜悠佑  
 2年生:男子 1位 新穂紘作 2位 肱黒志祐 3位 山田悠翔  
 3年生:男子 1位 下澤 裕 2位 加田野璃人 3位 松崎康大  
 1年生:女子 1位 中村 花 2位 松井千紗葵 3位 小川 天  
 2年生:男子 1位 梶尾咲姫 2位 坂口心媛 3位 野村こはる  
 3年生:女子 1位 尾上礼夏 2位 嶋本侑夏 3位 石原美優



## 令和2年1月の行事予定

| 日  | 曜 | 行事等                 | 日  | 曜 | 行事等                     |
|----|---|---------------------|----|---|-------------------------|
| 1  | 水 | ☞元日                 | 13 | 月 | ☞成人の日                   |
| 8  | 水 | 始業式・大掃除・学活・道徳 ※給食あり | 15 | 水 | 鹿児島学習定着度調査(1・2年)・心の教育の日 |
|    |   | いじめ問題を考える週間(～13日)   | 16 | 木 | 鹿児島学習定着度調査(1・2年)        |
| 9  | 木 | 3年実力テスト・いい歯の日       | 23 | 木 | 教育相談(2月6日まで)            |
| 10 | 金 | スクールカウンセラー来校日       | 24 | 金 | 私立高等学校入学試験(一般入試)スタート    |
| 12 | 日 | 脇本地区子ども育成会駅伝大会      | 28 | 火 | 令和2年度入学説明会              |

## 鹿児島学習定着度調査 1月15日(水)・16日(木)

基礎的・基本的な知識や思考力・判断力・表現力等の学力を把握する調査です。県内の中学1・2年生を対象に「国・社・数・理・英」の5教科で行われます。本校では目標として「全教科県平均 + 1%以上」を掲げています。